



校長先生の挑戦7：頑張るのは何のため？

11月4日の全校集会では、10月27日に開催し、大いに盛り上がった運動会を振り返りながら「頑張るのは何のため？」というテーマで話をしました。

子どもたちは、今年も、二人の団長さんを中心に、素晴らしい運動会を作り上げてくれました。練習を重ねるたびに、二人の団長さんの頑張りが全校児童一人一人に伝わっていくのが手に取るようにわかりました。次第に一致団結していく様子に、鳥肌が立つような場面もありました。全体練習初日には、**頑張るのは感動するため。感動するのは心に残すため。心に残すのは未来に繋ぐため。**去年の全体練習の時と同じこの言葉を、今年は、真新しい20枚の黄色いサージを高々と掲げながら、子どもたちに伝えました。このサージ（前号でも紹介した通り、本校を卒業したお二人の御兄弟から御寄贈頂いたエイサー専用の頭巾です。）には、

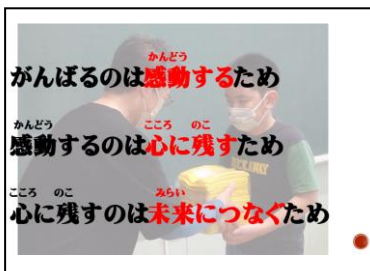
「僕たちはエイサーを精一杯頑張って、素敵な感動を味わったよ。」

「その感動は、今も心にちゃんと残っているよ。」

「心に残っているからこそ、君たちにもそんな素敵な経験をして欲しいな。」

「頑張れば、感動できて、心に残って、未来に繋がるよ。」

お二人のそんなメッセージが込められている気がします。一生懸命に頑張ったからこそ、優勝の喜びは次の挑戦に向かうエネルギーへ、優勝を逃した悔しさは次の挑戦のためのステップへと変換されます。磨き上げた桜小エイサーやソーラン節の緊張感や高揚感、団技や応援で味わう連帯感や一体感など、何れの感動も、まずは一生懸命に頑張ることが、その発動条件となります。ただ闇雲に声かける「頑張れ」ではなく、将来のために何らかの苦行に取り組みせようとする「頑張れ」でもない。今を輝かせるための「頑張れ」を、子どもたちに贈り続けたいと思います。



油津小との交流。宿泊学習において（5年生）

11月12日に、5年生が油津小5年生との交流を行いました。5年生は、28、29日に宿泊学習を計画していますが、その宿泊学習では、油津小と活動を共にします。規律、協同、友愛、奉仕の心を学ぶ宿泊学習では、協力しないと成し遂げられない様々な活動に取り組みます。活動班は、桜ヶ丘小と油津小の混成となります。同じ油津中に進学する仲間たちとの初めての協同作業です。



音楽大会、頑張りました。（3・4年生）



11月13日に、音楽大会がありました。桜ヶ丘小では、3・4年生が出場する関係もあり、隔年で参加しています。南郷ハートフルセンターのような大きな舞台に立ち、スポットを浴びる経験は、一生の中でも、そんなに多くはないかもしれません。子どもたちは緊張しつつも「ジュピター」「パフ」の二曲をのびやかに演奏してくれました。子どもたちの心の中に、「宝物」が、また一つ加わりました。

わかればできるのが教科、わかっててもできるとは限らないのが道徳



11月17日は、日曜参観日でした。当日は、通常の参観授業、学級懇談に加え、親子学習教室（学校保健委員会）やPTA親睦会も開かれ、充実した1日となりました。

授業参観は、全て道徳でした。昨年度も、この学校だよりでお伝えしましたが、他の教科と違って「わかる」ということと「できる」ということの間には大きなギャップがあるのが、この「道徳」という教科だと考えています。

例えば、算数で、かけ算九九がわかった子どもは、当然ながら、皆、かけ算九九ができます。しかし、道徳で「あいさつは大切だ」とわかった子どもが、皆、あいさつができるかという、そうではありません。私自身、大切だとわかっていても実践できていないということが、山程あります。道徳では「教える」という言葉より「示す」という言葉の方がしっくりくる気が、私にはします。



「自分自身も、決して完璧にできているわけではない。」
「でも、道徳で学ぶことの大切さは、わかってほしい。」
「そして、その大切なことに、ぜひ、挑戦してほしい。」
努力する自身の姿を示しながら、そう訴えていくことが教師の仕事であり、その大切なことが絵空事ではないことを「示す」のは、周りの全ての大人の責任だと私は考えます。大人が大切にしないものは、子どもも大切にはしません。

親子学習会では、県や市の平均と比較して肥満傾向の児童が多いという本校の実態を踏まえ、より実践的な活動として、気軽にできるストレッチに取り組みました。

お弁当をはさんだ午後には、PTA親睦会としてドッジビーを行いました。柔らかいフリスビーだと、大人が本気で投げても全然怖くありません。5年生が育てた餅米の格安販売もあり、飛ぶように売られていました。



自分の命は自分で！避難訓練（不審者対応・火災）



10月31日は不審者対応、11月20日には火災の避難訓練がありました。どちらも「もしも」の時に、自分の命を守るための大切な訓練です。昔は、避難訓練と言えば、地震と火災の二つでしたが、現在は、四つの訓練を行っています。火災、地震・津波、不審者、風水害の四つです。

2011年の東日本大震災以降、地震の訓練では、必ず津波を想定するようになりました。不審者対応の訓練は、2001年の附属池田小学校殺傷事件がきっかけです。風水害については、日南市でも、ごく最近、実際に起こりました。天災も人災も想定を越えて来る現代においては、危機意識を持つことは勿論、常にバージョンアップしていく必要があります。

12月の行事予定

12月 5日	修学旅行（6年）	12月 7日	PTA 餅つき大会
12月 6日	々	12月24日	終業式
※冬休み	12月25日～1月5日		
※始業式	1月6日		

